

# 令和8年度 小樽市立松ヶ枝中学校 学力向上改善プラン

## 1 生徒の実態

<国語> チャレンジテストでは、ほぼすべての回で全道平均を上回った。また、全国学力・学習状況調査では、全国平均を2.7ポイント上回った。しかし、標準学力調査では、全国平均と比べて7.8ポイント下回った。

<数学> チャレンジテストでは、1・3年生はすべての回で全道平均を上回ったが、2年生はすべての回で全道平均を下回った。全国学力・学習状況調査では、全国平均と比べて3.3ポイント下回った。また、標準学力調査では、全国平均と比べて14.1ポイント下回った。

<学習・生活習慣> 家庭学習を全くしない生徒は学校全体では1割未満ではあるが、少数ながらいる。また、平日のスマホ等の使用時間が4時間以上の生徒は1年生19.6%、2年生32.7%、3年生25.9%を占め、生活習慣の改善に向けた取組が課題である。

## 2 学年ごとの定着目標（数値目標）

### <国語科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテストにおいて、集計全てで全道平均以上にする。
2年	・標準学力調査において、目標値を上回る。
3年	・全国学力・学習状況調査において、全国の平均正答率を上回る。

### <数学科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテストにおいて、集計全てで全道平均以上にする。
2年	・標準学力調査において、目標値を上回る。
3年	・全国学力・学習状況調査において、全国の平均正答率を上回る。

### <学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・家庭学習を「全くしない」を0%にする。 ・平日のスマホ等の使用時間3時間以上の生徒を30%未満にする。
2年	・家庭学習を「全くしない」を0%にする。 ・平日のスマホ等の使用時間3時間以上の生徒を30%未満にする。
3年	・家庭学習を「全くしない」を0%にする。 ・平日のスマホ等の使用時間3時間以上の生徒を30%未満にする。

## 3 目標を達成するための具体的な方策

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① 定着を図るための反復学習の実施
- ② 支援員による学習支援
- ③ 放課後学習、長期休業中の学習会の実施

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① 単元デザインの工夫による個別最適な学びの充実
- ② 「交流」を通して言語活動の充実や思考の深化を図る  
(自己決定の場の提供)
- ③ 各種研修会・研究会への参加と還流

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 「学習の手引き」を活用した家庭学習についての指導の充実
- ② 情報モラル教室等による「おたるスマート7」の指導の充実
- ③ 各種調査やアンケート結果に基づく日常の啓発活動の充実

### (4) その他

## 4 実施計画

年月日	計 画 内 容
R 8年	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施</li> <li>・チャレンジテスト（前年度問題）の実施</li> <li>・「学習の手引き」を使って学習の仕方を理解</li> <li>○R 8全国学力・学習状況調査の実施</li> <li>○全国学力・学習状況調査 自己採点</li> <li>○標準学力調査実施（第2学年）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員による分析及び授業改善に向けた検証</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○標準学力調査結果分析</li> <li>・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストにおける検証</li> <li>・チャレンジテスト（1学期末問題）の実施</li> <li>・学校の自己評価の実施（アンケート）</li> <li>・夏季休業中の学習会の開催</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期評価をふまえた2学期の改善方策検証と実施</li> <li>○R 8全国学力・学習状況調査結果分析</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者への調査結果の説明</li> <li>○学力向上改善プランの評価・改善</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストにおける検証</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテスト（2学期末問題）の実施</li> <li>・学校の自己評価の実施（アンケート）</li> <li>・冬季休業中の学習会の開催</li> </ul>
R 9年	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期評価をふまえた3学期の改善方策検証と実施</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストにおける検証</li> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの（前年度等）全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施</li> <li>○新学力向上改善プランの作成</li> </ul>

## 5 評価方法

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査
- ② 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査
- ③ 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査
- ② 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査
- ③ 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査
- ② 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査
- ③ 生徒・保護者アンケート・職員自己評価・各種調査

### (4)